

2020年5月22日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

2019年度証券アナリストジャーナル賞を受賞

～ 日興アセット社員2名による共著論文「日本企業の人材投資効率と株主価値」～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)の石川康・オルタナティブ運用部長 兼 グローバル・マルチアセット共同ヘッドと長谷川恭司・インベストメント・テクノロジー運用部クオンツアナリストの2名による共著論文「日本企業の人材投資効率と株主価値」がこのたび、2019年度証券アナリストジャーナル賞^{*1}を受賞いたしました。

高齢化と人口減という社会的課題を抱える日本では、限られた人的資源を効率的に活用して労働生産性を改善させることが、経済的側面のみならず社会的側面からも重要課題と言えます。そうした認識の下、本論文は、企業の従業員変化率に対するその後の労組生産性の変化の度合いを人材投資効率と定義することで、人材への効率的な投資がいかに人件費の増大を上回る付加価値を生み出し、株主価値向上に寄与するかを実証分析に基づき明らかにしています。近年、多くの企業において ESG(環境・社会・企業統治)課題に向き合いながら、収益の創出や競争力向上に取り組む姿勢が強まる中、企業の社会的課題への対応が社会的価値のみならず、経済的利益の創造にも繋がるという CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)の考え方が注目されています。本論文では、人材投資効率が高い企業は雇用を生むと同時に、その後の企業業績および株主価値をより堅調に向上させる傾向があり、さらにその傾向は労働生産性が低い企業群においてより顕著になることを実証しました。この結果は、CSVに着目した ESG 投資が、投資家にとっての経済的価値である超過収益に繋がる可能性を示唆しているとも言えます。

日興アセットでは、中長期的に超過収益を実現するためには、運用プロセスに ESG を適切に組み入れていくことが重要と認識しており、2013年から、ESG要素を含めた包括的な企業価値を図る CSV 評価^{*2}を開始し、国内株式の投資プロセスに組み込んでいます。CSV 評価は、企業との継続的なエンゲージメントを通じ、企業の ESG のみならず、財務・市場競争力も合わせて企業価値を評価するものです。

受賞にあたり、石川は、「このたび、栄誉ある賞を頂けたことを光栄に思います。日本企業のデータを分析しますと、特に人材への投資の巧拙がその後の企業業績、および株価を左右する傾向が他の有形資産への投資よりも強いことがわかりました。本論文から得られる示唆が、今後、企業経営を担う方々の参考となり、また資産運用業における投資技術の発展に資すれば大変幸いです」と述べています。また、長谷川は、「このような栄えある賞に選定頂き大変嬉しく思います。限られた人的資源をいかに有効活用して付加価値を生み出すかという観点からは、ESG の S に関連した重要なテーマであり、ESG の重要性が特に認識される昨今において、人材への投資効率と株主価値の関係を扱った本稿の実務的な応用可能性についてもご評価頂けたのではないかと考えます」とコメントしています。

掲載号:証券アナリストジャーナル 2019年6月号(第57巻第6号)

受賞論文:<https://www.saa.or.jp/learning/journal/prize/index.html>

以上

※1 証券アナリストジャーナル賞とは・・・毎年該年度の日本証券アナリスト協会が発行する機関誌「証券アナリストジャーナル」4月号から3月号に掲載された論文の中から優れた論文に対して与えられる賞。選考する編集委員会では、(1)独創性、(2)論理の展開力、(3)実務への応用性、の三つの審査基準に着目し、受賞作の選定を行う。なお、編集委員およびモニターが執筆した論文(共同執筆を含む)は、慣例により本賞の対象外としている。1989年から始まり、今年で31日回目を迎えます。

※2 CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)評価とは・・・米ハーバード大学経営大学院のマイケル・ポーター教授が提唱するCSV理論(社会的価値を創造することが経済価値につながるという考え)を応用し、スコア化した包括的な評価です。このスコアは、企業がESG課題への取り組みと収益性や競争力の追求のバランスを取りつつ、社会と株主の双方のために価値を生み出しているかを評価します。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用やETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名^{*}の運用プロフェッショナルが約26.8兆円^{**}の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの[HP](#)をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2019年12月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会